

総合型地域スポーツクラブ振興事業

取り組みの概要

帯広市内に設立した総合型地域スポーツクラブが実施しているスポーツ振興事業を支援することにより、地域ニーズを捉えたスポーツ活動が促進され、気軽に楽しくスポーツを楽しむ場を提供することができます。また、地域コミュニティ活動の拠点施設として地域住民が一体となりクラブ運営を進めることにより、スポーツを中心とした社会活動に貢献することができます。

現在の総合型地域スポーツクラブ 計6団体

・「清流スポーツクラブ」(平成18年度) ・「帯広の森スポーツクラブ『はつらつ』」(平成19年度) ・「ちくだいKIP」(平成26年度) ・「特定非営利活動法人緑ヶ丘スポーツクラブ」(平成27年度) ・「クローバー総体クラブ」(平成31年度) ・「帯広トレーニングクラブ」(平成31年度)

協働の きっかけ

スポーツ振興基本計画(H12.9月)における具体的施策として、平成22年までに「総合型地域スポーツクラブ」を少なくとも1つ設置・育成が求められており、この計画に基づき平成16年に、総合型クラブの設立母体として「光南SHCクラブ」を発足し、光南小学校の温水プール等を利用したスポーツの振興を推進しました。後にこのクラブは平成18年度に「清柳スポーツクラブ」に名前を変え、帯広初の総合型地域スポーツクラブとなりました。その後も活動は広がり続けています。

スポーツ課



地域住民、競技団体等

強み

設立1～3年目については、運営資金の一部を補助する。

役割

- ①地域住民に対して、スポーツ活動の場を提供する。
- ②地域コミュニティ活動の拠点

協働の 成果

地域及び周辺住民に対し、身近にスポーツ機会を与える場が提供でき、健康増進も図られました。また、競技団体主体のスポーツクラブでは、一貫指導による長期的な視野での選手育成が期待できません。

協働のポイント

今後は、このスポーツクラブが帯広市の支援を受けず独立して活動できることが望ましく、その支援方法や期間を検討する必要があります。また、次の「総合型地域スポーツクラブ」を養成するための活動を地域住民等と連携して行う必要があります。

総合型地域スポーツクラブ

スポーツ振興事業の
計画・実施
ニュースポーツの普及

スポーツ活動の場を提供

地域コミュニティの推進

クラブ育成・発展への支援

アスリートの養成支援

行政

講師・指導者の派遣
振興事業への支援
(講師謝礼負担)